

竹被覆工による シカ侵入防止対策

和歌山森林管理署



平成27年より試験施工

竹被覆工とは

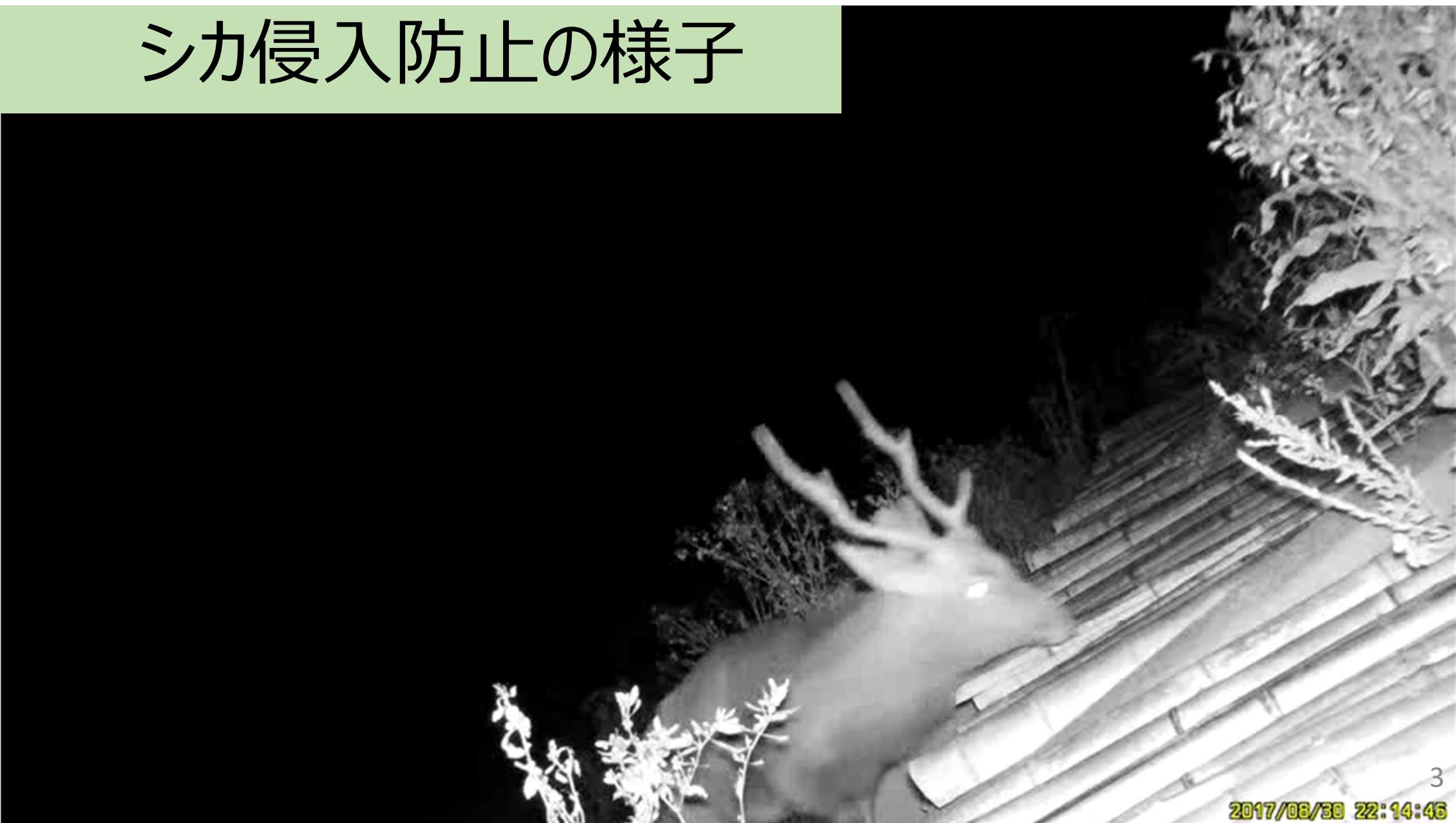
- ・半割した竹を縦に並べたもの
- ・シカが滑って侵入できない
- ・30度以上の傾斜で有効
- ・約2年～3年効果が持続

竹被覆工のメリット

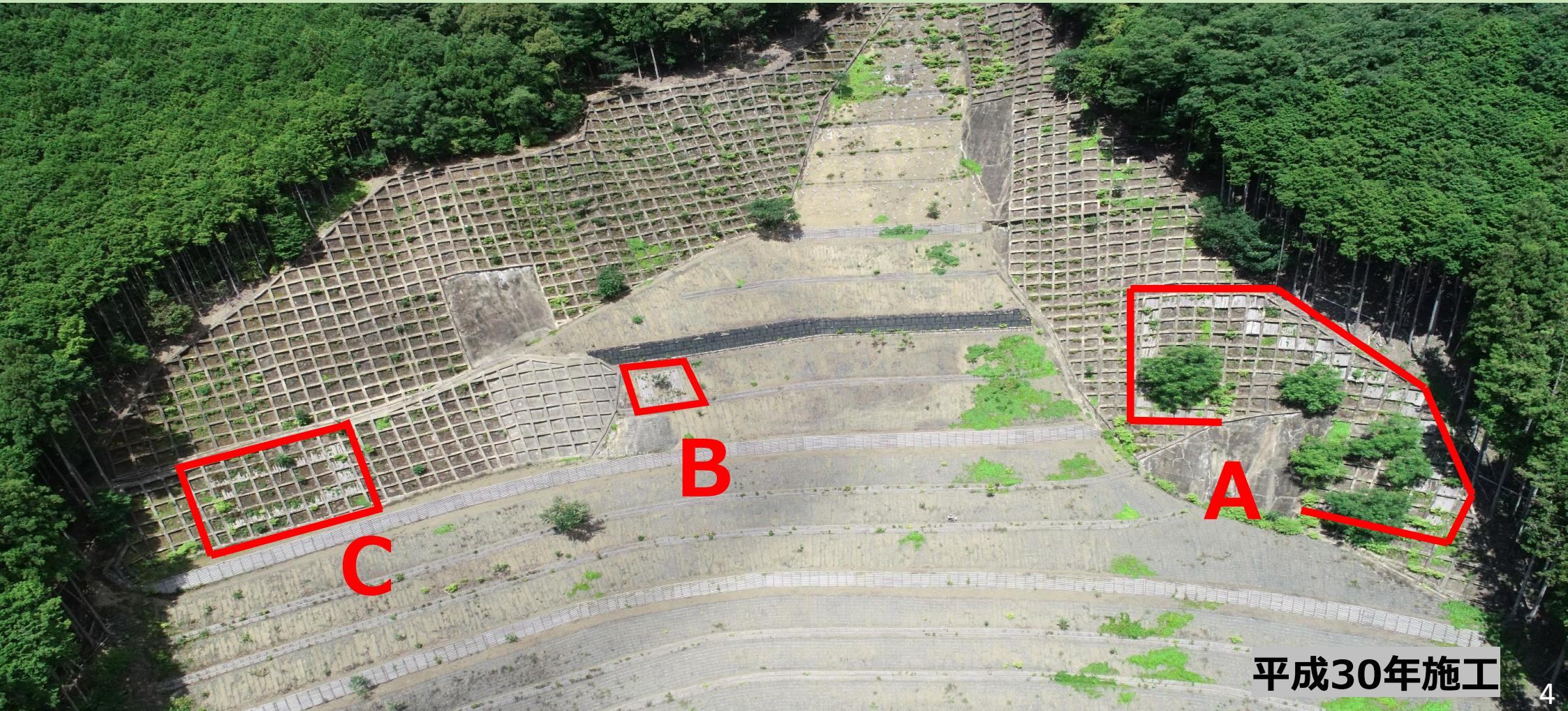
- ・景観に配慮
- ・施工が簡単
- ・メンテナンス不要
- ・撤去不要
- ・放置竹林の対策



シカ侵入防止の様子



竹被覆工の施工箇所（下モ谷地区）



平成30年施工

A施工区

平成30年施工



- 竹被覆工の内側にセンダン 7 本、外側に 3 本植栽
- 内側の 7 本は良好に生育

B施工区

平成30年施工



- 竹被覆工の内側にヤマガリを植栽
- 樹高 2 mに生育
- 地上1.2m以下の枝はシカによる食害
(ディアライン)
- 枯れる心配はない

C施工区

平成30年施工



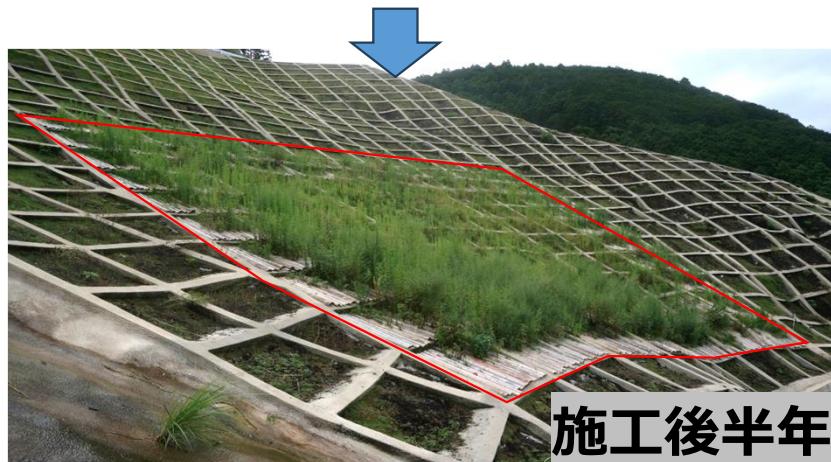
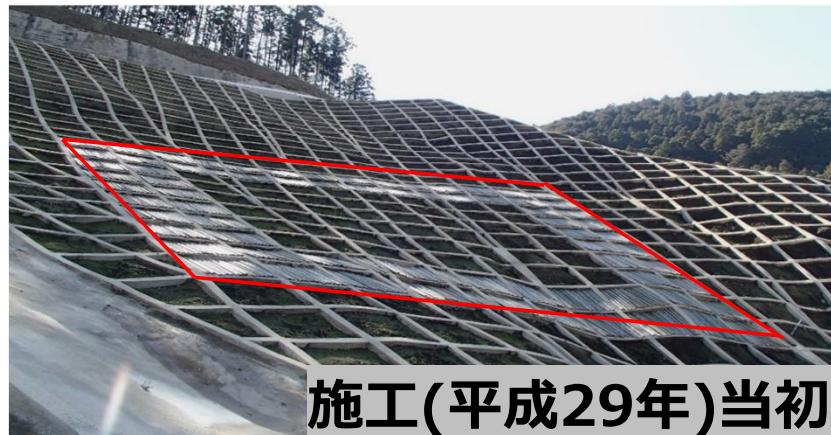
- ケヤキ、ヤマグリ、アラカシを植栽
- 施工当初からシカの侵入を確認
- 植栽木は、ほぼ消滅
- 竹と竹の隙間に植生を確認

対照区 (何も対策していない法枠工)



- 法枠工の中に緑化基材を吹付
- 鹿の食害と踏み荒らし
- 裸地化が深刻
- 法面では鹿が好まない植物が生育
(ニワウルシ、オオルリソウ、ナチシダ、
ジャケツイバラ、ハスノハカズラ)

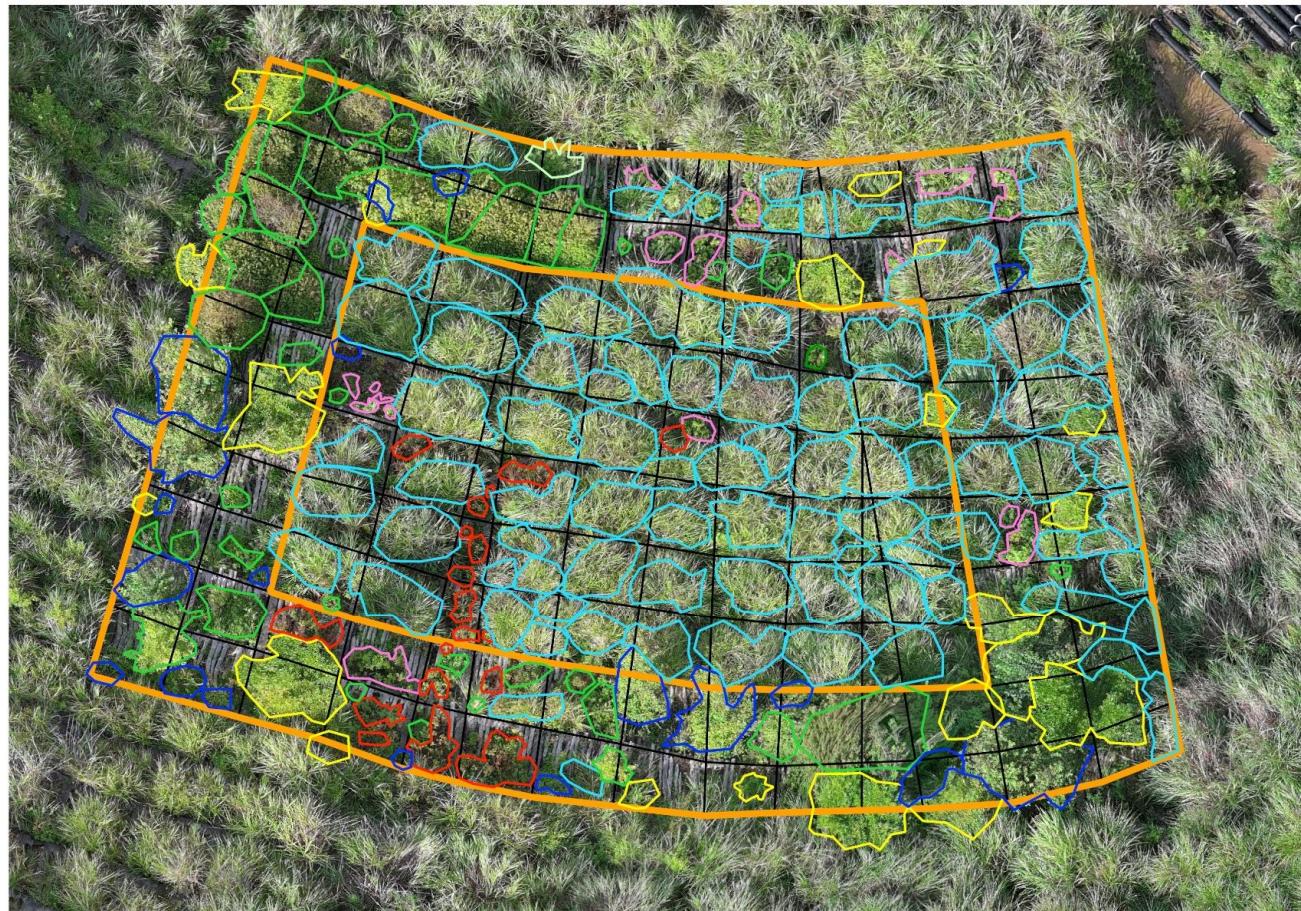
他地区での施工事例（本田垣内地区）



- ・ 緑化基材（草本）の吹付
- ・ 木本類を植栽せず



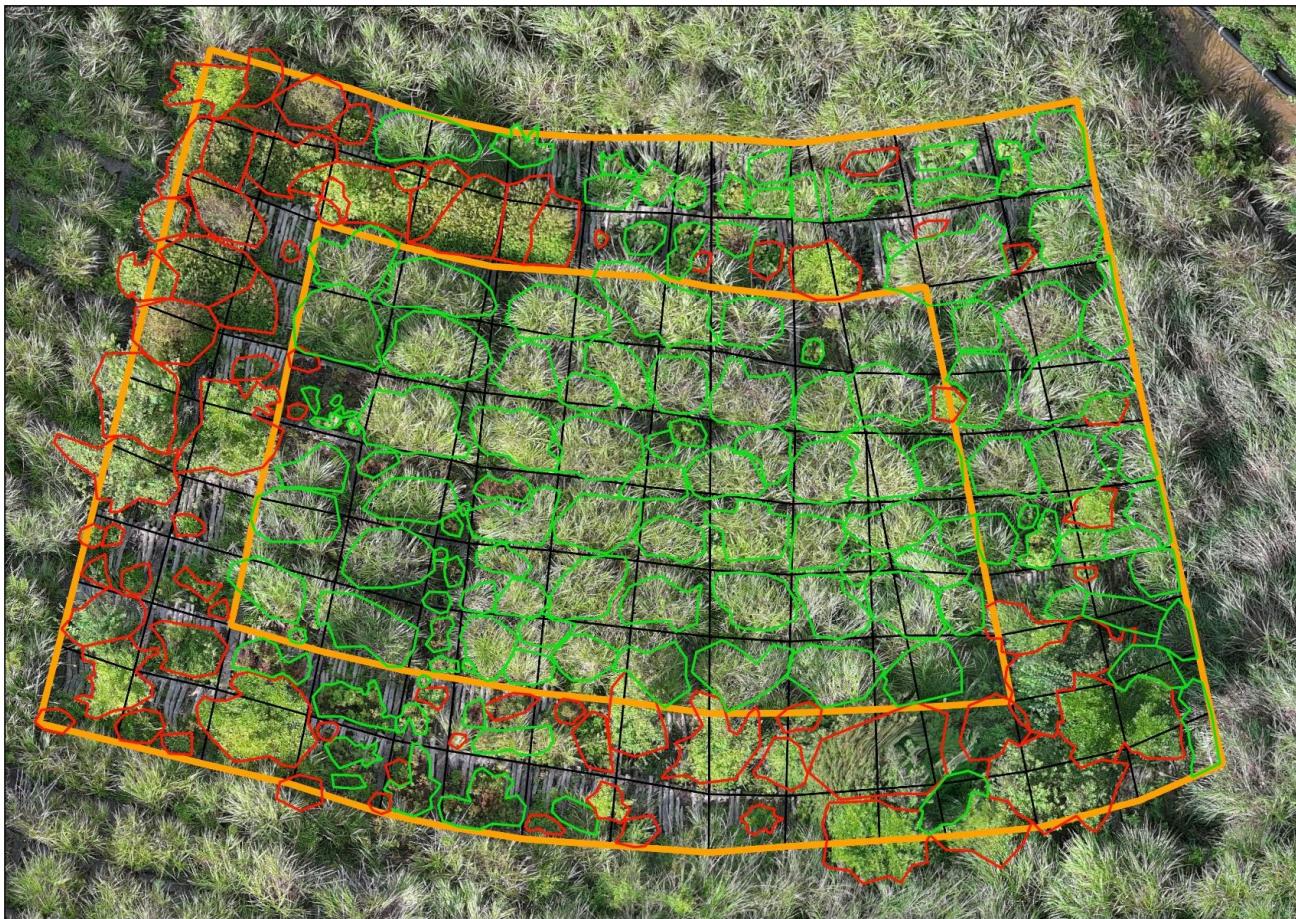
本田垣内地区 植生調査結果



凡例

- ウツギ
- オタギリソウ
- カナクギノキ
- コアカソ
- ススキ
- ダンドボロギク
- ナチシダ
- マツカゼソウ

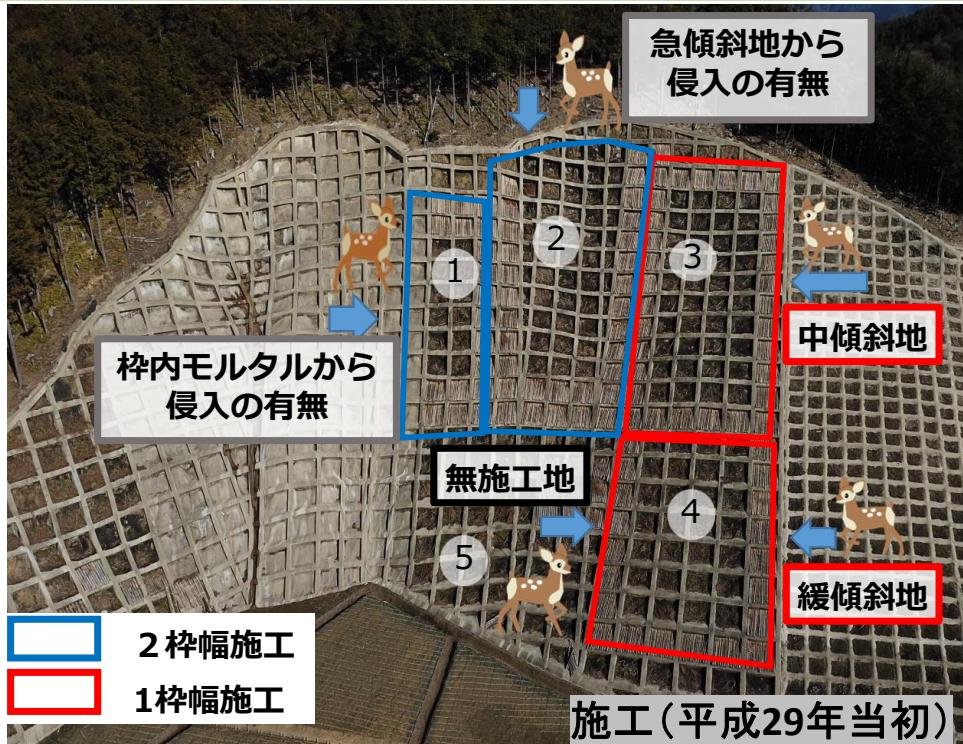
本田垣内地区 植生調査結果



凡例

- 草本類
- 木本類

他地区での施工事例（八升前地区）



現在

- ・ ヤマグリ、アラカシを植栽

- ・現在ヤマグリが5m程度に生育
- ・自然進入した樹木も同程度に生育

八升前地区 植生調査結果



凡例

アカメガシワ
アラカシ
イヌビワ
ウツギ
キリ
クリ
コウゾ
サンショウ
ススキ
タラノキ
ニワウルシ
ミカン
メドハギ
ヤブマオ
ヤマザクラ

八升前地区 植生調査結果



凡例

- 草本類
- 木本類

まとめ



シカの多い急傾斜地において、竹被覆工と成長の早い樹木を組み合わせ、森林への回復が可能



植生回復という
治山事業の目的が達成